

## 会 議 録 (要旨)

会議の名称	令和5年度 第5回 小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会
開催日時	令和5年12月5日(月曜日) 午前9時30分から午後11時40分
開催場所	福祉会館 4階 小ホール
出席者	委員12名(うち公募委員5名) 欠席2名 傍聴者2名
会議資料	◆資料1 小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会委員名簿 ◆資料2 第4回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会議事録 ◆資料3 第二次小平市観光まちづくり振興プラン(素案) ◆資料4 パブリックコメントについて ◆別紙1 キャッチフレーズについて ◆参考資料1 意見一覧表 ◆参考資料2 アクションプラン一覧表
説明事項	1. 第4回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会要旨について 2. キャッチフレーズについて 3. 素案について 4. パブリックコメントについて 5. 感想 6. 事務連絡

● 会議事項

1. 第4回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会要旨について	
発 言 者	会 議 内 容
【事務局】	◆資料説明：「第4回小平市こだいら観光まちづくり振興プラン検討委員会議事録」【資料2】

2. キャッチフレーズについて	
発 言 者	会 議 内 容
	<p>◆2つのグループに分かれ、キャッチフレーズについて検討を行い、各グループによる発表を行う。</p> <p>Aグループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズはこのままで良いという意見が多かった。理由としては、田舎にはマイナスのイメージがあるが、プチが付いていれば、キャッチーで良いのではないかと。プチ田舎のイメージが定着し、マッチしている。ポジティブな意味で田舎を使っている、良いのではないかと等の意見であった。ただもう少し視覚的なイメージがあった方が良いのではないかと。例えば稲城では里山の風景があるので、小平で言うと、平らな地形が思い浮かぶようなサブタイトルがあれば良いのではないかと。懐かしくてほっとするといったところで、都会から一番近いプチ田舎にサブタイトルを付けながら、表現するのも良いのではないかとといった意見も出た。今回の計画の中で、認知度を上げていく観点から言うと、「東京」にあるプチ田舎であるということを訴えていった方が良いのではないかとということ、東京プチ田舎というキーワードが出て、これにはみんな賛同し、意見がまとまってきた。平らであるとか、坂がないということも踏まえてまとまった案が、「ふらっと小平 東京プチ田舎」である。ふらっとは平らという意味と、気軽にちょっと立ち寄ってほしいといったマイクロツーリズムの観点を含めている。細かい表記、漢字・平仮名等どうするかという課題はあるが、以上の案でまとまった。</li> </ul> <p>Bグループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズを替えることは様々なリスクがあるので、このままで良いのではないかと。浸透し認知されていて、都会の人にとってはキャッチーなフレーズだという意見であった。また、小平市内に住んでいる人が多いので、内部の視点として田舎というイメージはどんなイメージなのか、田舎は差別用語になるのか、自虐的なイメージをわざと使うのかという感覚と、小平はそんなに田舎ではないのではないかとという意見があった。外部から来た人が、田舎と思ってきてみたら、あまり田舎ではなかった、それであればもっと遠くに行くのではないかと。今後小平はどんな田舎を目指すのか、共通のイメージが持てないといった意見もあった。また、都会から一番近いのかについては、他の言い方として、都会</li> </ul>

## 2. キャッチフレーズについて

発 言 者	会 議 内 容
	<p>と田舎が交わっているという意味で、交差点というキーワードが出た。あとは、田舎の代わりに、ふるさと・里といった表現もあれば良い。すでに住んでいる人が、更に住み続けたいと思えて、それを外部の人にも共有してもらえると良いという意見であった。外部の人からの視点として、そこに行ってみただけでなく、そこに住んでみたいと思った時には、生活がしやすく利便性があるといったことも、イメージとして打ち出せたら良いといった意見もあった。あと平らであること、低層住宅が多いことの別の表現として、空が広いということも打ち出せるのではないかといった意見があった。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席の委員より事前に意見をいただいていた、「グリーンロードや丸ポスト等の小平の観光資源や鈴木遺跡も国指定になったので、そういったニュアンスが入るようなキーワードがあれば良い」とのことである。具体的には「小平 鈴木の聖地」という案もいただいている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今、それぞれのグループの意見が出されたが、感想があればお聞かせ願いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふらっと小平 東京プチ田舎」を気に入っているのか、あとはロゴをどうするか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>カタカナでフラット、平仮名でこだいらがよいのではないか。フラットにはふらっと行けるまちや、人間関係がフラット、地面も平らであるという意味で、ロゴにも躍動感があると思った。来年津田梅子の新5千円札が発行されるので、小平は全国的にアピールできるはずである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の「都会から一番近いプチ田舎」というのは見直しをするというのが、総意になるのか。Bグループでは、既存のキャッチフレーズを辞めるリスクが相当あるのではないかと意見があり、印刷物等色々出しているものを撤収するコストもかかるという意見があったので、その通りだと思う反面、見直した方が良いという意見もあり、多数決で見直すという話になったが、Aグループも見直すという方向で良いのか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京から一番近いというのを縮めて東京プチ田舎になったのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の見解として、1つには決められないが、新しく加えるとか、変化させるといったのは賛成ということではないか。ここで全てを決めることはできない。</li> </ul>

2. キャッチフレーズについて	
発 言 者	会 議 内 容
委員長	・ 大体の方向は本日決めたいという事務局の意向である。
委員	・ この会議でキャッチフレーズを替える権限があるのか。
事務局	・ ある。前回のキャッチフレーズを決めたのも第1次の検討委員会であるので、キャッチフレーズを見直すことは可能である。
委員	・ 今のキャッチフレーズを残した方が良いと言ったのは私で、販促物を含めコスト面でマイナスになるのではないかと思ったが、それを超えるような新しいものがあれば、ぜひそちらを使うべきだ。まさにこの、「ふらっと小平」というのは非常にインパクトがあり、今のキャッチフレーズを超えと思ったのと、こちらのチームでは田舎という言葉が、内部からみると自虐的ではないかという意見があったが、外部からすると田舎はキャッチーで訪れたいと思ってもらえるので、残してもいいのではないかという意見も出ていた。それを含めると「ふらっと小平 東京プチ田舎」というのは、それをまとめたものになるのではないか。カタカナ等の表記の仕方はわからないが、非常に良いフレーズだと思った。
委員	・ 市が商標登録しているのは「プチ田舎」なのか。
事務局	・ そうである。
委員	・ ふらっとは坂がないというイメージを表現しているので賛成で、ふらっとはカタカナが良いと思う。
委員	・ 実家が北関東なので、自分の思っている田舎のイメージは実家になるが、「東京プチ田舎」は東京の田舎ということで、外部の人と共有できると思う。
委員長	・ 検討委員会としては「ふらっと小平 東京プチ田舎」を推していく。東京プチ田舎は、プチ田舎が商標なので、このままの表記になると、小平を漢字にする場合に東京と漢字が続くため、その間をどうするのかというデザインの問題がある。 「ふらっと」もカタカナか平仮名かによって、随分イメージが変わるので、ビジュアルをどうするのか。こちらのチームではバリアフリーの話が出て、平らということと、小平は若い人たちが新しい概念をどんどん使って発展させていくような未来志向型のキャッチフレーズになるようにという意見が出ていたので、カタカナ・平仮名・漢字の表記について考えていただきたい。
事務局	・ パブリックコメントには、「ふらっと小平 東京プチ田舎」の形で出して、意見

2. キャッチフレーズについて	
発 言 者	会 議 内 容
事務局	を問うという形にしたい。

3. 素案について	
発 言 者	会 議 内 容
【事務局】	◆資料説明：「第二次小平市観光まちづくり振興プラン（素案）【資料3】 「検討委員意見まとめ」【参考資料1】 「アクションプラン一覧表」【参考資料2】
委員長	・今の説明について、質問や意見があればお願いしたい。
委員	・近隣市で川を挟んで観光エリアと住居エリアで対立が起きてしまい、片方は観光を目指し、もう片方は住むまちを目指すことになり、人口は減少しこれからも減少することが明らかになっているので、観光まちづくりは良い言葉だと思っている。小平は乖離しないように進めていただきたい。
事務局	・市は皆さんにとって住みやすいまちを目指している。観光まちづくりではあくまで観光に視点を当てているので、プチ田舎という言葉が使われているが、市の施策として田舎を目指しているわけではない。あくまでも住みやすいまちというのが基本なので、分断されることはないと思う。
委員長	・田舎に対するイメージは様々だが、住みやすいまちという意味合いを込めて、東京プチ田舎というキャッチフレーズを使ったらどうかという前提で、もう一度施策が合っているかという視点で見えていただきたい。
事務局	・パブリックコメントに向けて、軽微な修正については、事務局の方で行う。
委員長	・アクションプランの表は素案のどこに入るのか。
事務局	・表は入れず詳細は文章で示す。
委員長	・体系が視覚的に分かりにくいので、工夫してもらいたい。
事務局	・アクションプログラムの下に横付けでプランの番号を記入する。
委員長	・皆さんからいただいた意見が、ちゃんと検討結果の中で反映されているか確認し

3. 素案について	
発 言 者	会 議 内 容
委員長	ていただきたい。
事務局	・ 前回委員会時の素案と大きく異なる所は、成果指標が入っていることである。アクションプランについても皆さんから多くの意見をいただいて、現実的なものとし、更に成果指標まで作成した。この4年間でかなり現実的に動いていくので、きちんとした素案でパブリックコメントに臨めると事務局では考えている。

4. パブリックコメントについて	
発 言 者	会 議 内 容
【事務局】	◆資料説明：「パブリックコメントについて」【資料4】
委員長	・ 今回はキャッチフレーズも発展させるということで、素敵なキャッチフレーズを考えていただいた。広報もその点をクローズアップして、市民の方に関心を持っていただけるようになれば良いと思う。委員もパブリックコメントに参加できるので、漏れている所等あればお願いしたい。

5. 感想	
発 言 者	会 議 内 容
委員長	・ 今日のグループディスカッションや、大詰めを迎えた感想でもいいので、委員の皆さんから一言ずついただきたい。
委員	・ 小平市外在住のため、外部からの視点で意見を述べさせていただいた。皆さん色々な思いがあると思うが、キャッチフレーズを1つに決定できたことは、この短時間で素晴らしい議論が出来たと思う。引き続き有意義な会に参加させていただきたい。
委員	・ 短い時間であったが、ギュッと詰まった議論が出来て、着地もしっかり出来て、非常に良かったと思う。
委員	・ 短い時間でキャッチフレーズが出来て良かったと思う。 大学のレポート課題が自分のまちについてなので、この検討委員会の内容を取り入れようと思っている。今回学んだことは役に立つと思うので感謝したい。
委員	・ 短時間で決まり驚いた。もっと激しい議論になるかと思ったが、東京プチ田舎というフレーズを聞いて、本当にそのとおりだと思った。また、自分の意見を出し

5. 感想	
発 言 者	会 議 内 容
委員	<p>たら、反映していただけたので、事務局の労力に感謝したいし、市民の声をきちんと反映していることに驚いた。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッチフレーズを一生懸命に考えたと言ったが、まさかこんな晴れ晴れしい日が来るとは思わなかった。色々なことを教えていただいて感謝したい。</li> </ul>
コンサル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの立場で、短い時間で擦り合わせが出来たことに驚いている。とても貴重な会議に参加させていただき、良い経験になった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充実した時間を過ごせた。こういう会議にでないとご縁の無かった方も多かったので、色々な方の話を聞くことができ、出席して良かった。都心から一番近いプチ田舎というキャッチフレーズを作った時も、こんな感じで進んで行ったのではないかと改めて思った。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京プチ田舎というフレーズは、田舎というネガティブな印象を打ち消す高級感がある。また、ブルーベリーもあり、農地がたくさんあり、平らだから住みやすいことや、用水路がたくさんあること、市外の人間からすると、色々陳列して見せてもらったが、バラバラに感じていた。しかし、「ふらっと」のイメージから小平のシルエットが見えてきた。素晴らしいキャッチフレーズが出来たと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 率直に、この短時間で意見がまとまると思っていなかった。個人的には前回のフレーズより、こっちの方がしっくりとしていて、アップグレードされたと思う。委員の意見も入っているので良かったと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このような会議は初めて参加したが、楽しかった。大学生がこんなにしっかりしてると思わなかった。キャッチフレーズのロゴについて、小平と東京の漢字と漢字の間に、こだいらと平仮名を併記したらどうか。私は小平を知ってもらいたいので、漢字表記で、小さい平らと書いて、視覚的にイメージできるが、平仮名で書くとあくまでも言葉尻だけになってしまうので、併記する形をデザイナーに考えていただけると良いのではないかと考えた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標指標について、住み続けたいと思う人が 80%以下だったということに驚いた。こんな良い所なので、交通事業者としては、もっと魅力を発信しなければならないと改めて実感した。私は市外の人間だが、平らだから小平によく走りに来る。小平は非常に魅力があふれているので、仕事上でも小平の魅力を発信して、この目標数値の 80%が達成できるように貢献できればと思う。</li> </ul>

5. 感想	
発 言 者	会 議 内 容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の議論は、誰かが出した意見にただ賛成するという形にまとまったのではなく、色々な意見を出しながら組み上げられたプロセスがあり、非常に面白かった。「ふらっと」には英語本来の意味ではないかもしれないが、公正・公平というニュアンスもあると思う。今日まとめたのは、ここにいる皆さんが公平な目でフラットに見る力があったからだと感動している。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチフレーズの議論ができたことで、今後の観光まちづくりのイメージが出てきたのではないかと考えている。その視点でアクションプランをよく読み込み、更にブラッシュアップする意味で、委員の皆さんからもパブリックコメントに意見を出していただければと思う。</li> </ul> <p>私が今日感じたのは、ふらっとというのは小平の特徴でもあるが、観光まちづくりを打ち出す時に、平らだと色々なものが併記され過ぎてしまい、焦点化が難しいと感じている。様々なセクションが行っているまちづくり施策と連携していくことが「要」だと思う。多くの支援がある中で、「ふらっと」なことがもっとプラスに転じさせる方法を考え続けていけば良いのではないかと。皆さんから施策の中身についても多くの意見をいただいているので、この計画を広めていく核になる人たちになっていただければと思う。</p>

6. 事務連絡	
発 言 者	会 議 内 容
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後のスケジュールについて、次回の検討委員会の日程について、2月を予定している。日程が決まり次第メールで連絡する。</li> </ul>